

団体名		公益財団法人 武蔵野文化事業団				
①	指標名	芸術文化の振興(自主事業チケット販売の充実)			目標値	芸術文化の振興を図るため自主事業チケットを完売する
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: )	主催・共催123公演のうち1公演完売できなかった	主催・共催127公演のうち2公演完売できなかった	主催・共催134公演のうち1公演完売できなかった	平成20年度以降はすべての公演が完売という状況にはない。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目	(6) 組織・職員数等の適正化と目的・目標達成に向けた効率的運営の推進				
	設定理由等	市民文化の振興を図ることを目的として、管理運営している8施設の特徴を生かした事業を企画実施し、チケット提供価格を下げるため完売を目指して販売を行い、もって安価で優れた芸術文化を市民に提供する。				
業	取組	①市民が優れた音楽等を安価で鑑賞出来るよう独自招聘事業の充実を図りつつ引続き実施する。 ②市民文化会館休館に伴う公演数及び販売席数減少を補うため、他市施設や大学施設での自主公演開催も含め、公演事業企画実施する。 ③顧客層の拡大を図るため、主力であるクラシックの公演に加え、ジャズ、ポップス、民族音楽等、多彩な公演事業を企画する。 ④親子コンサート等今まで来場いただいていた市民への芸術文化の振興を図るための事業企画の充実を図る。				
	内容					
②	指標名	事業団予算の抑制(事業支出の抑制)			目標値	支出額(事業支出)の抑制に努める
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: )	収入額 951,058 内補助金 698,808 支出額 901,058	収入額 1,034,857 内補助金 720,389 支出額 1,038,085	収入額 1,030,328 内補助金 731,513 支出額 980,328		
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目	(4) 団体職員の人材育成と財政基盤の強化				
	設定理由等	事業団予算の抑制は重要な課題であり、毎年削減に取り組んでいるが、人件費など法人の努力外の部分もあり、例年、目標としては前年度並みとするという目標を立てている。しかし、平成28年度については、武蔵野市民文化会館が改修のため休館しており、施設管理にかかる支出が減り、事務所移転、備品保管等の新たな支出が増えるため、前年度と比較しての目標値設定が困難なため、目標数値は設けていない。				
務	取組	支出については、委託等の見直しなど引続き効率的な執行により支出減に努める。				
	内容					
③	指標名	人材育成のための人事制度の検討			目標値	法人の設置目標達成のための人事制度の検討
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: )	-	-	-		
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目					
	設定理由等	現在の人員体制(固有職員9名、嘱託職員24名)を基本としつつ、市民文化会館改修工事後、通常の人員体制に戻ることを踏まえ、今後のあり方を市と協議しながら、法人として確立した体制で、やりがいをもって働ける職場となるように、創意工夫し、総体的人件費の削減を行いつつ業務実績を向上できるように人事制度を検討したい。				
部	取組	①市派遣職員、管理職OB受け入れのあり方について、市と協議を行う ②他団体の人事制度の研究 ③制度の具体的設計				
	内容					
管	取組					
	内容					